

(社) 日本建築学会 近畿支部
2022 年度第 3 回空気環境部会議事録 (案)

日時：2022 年 12 月 19 日 (月) 17:30～19:30

場所：大阪大学工学研究科オープンイノベーションオフィス

出席者：東, 河野, 小林, 近藤, 盛, 崔, 松尾, 三石*, 山際, 山澤, 山田裕*, 山中,
塩崎・田中* (シンポプレゼ関連オブザーバ), 竹村 (記録) (敬称略, *印: 遠隔参加)

資料：・議事次第 資料 3-0
・第 2 回議事録 資料 3-1

議事：

1. 前回議事録が確認された。
2. 第 9 回シンポジウム「計測技術の現在とこれから」について
 - ・概要
 - ・ 3/15 (水) 14:00-17:30 の日程でドーンセンター大会議室(2)開催 (13-20 時使用で予約済)
 - ・ 聴衆は対面参加のみとする予定で参加費無料 (Google フォームとメールでの申込) とする。講師は遠隔でのご講演も可能にするつもりだが、会場のネットワーク環境が不十分な懸念もある。
 - ・ 講演順とおおまかなタイムスケジュールは下記となった。質疑は各講演直後に受ける。
 - | 「主旨説明」(東先生)
 - | 第一部：(司会：竹村)
 - | 「部会活動報告」(東先生) 15 分
 - | 「動画紹介」(参加可能な動画作成委員) 7 分×人数 (最大 8 名)
 - | 休憩 (15 時頃)
 - | 第二部：(司会：松尾先生)
 - | 「室内環境の維持管理・感染防止に関わる計測技術 (仮)」(民谷先生) 45 分
 - | 「シュリーレン法による流体計測の技術紹介ほか (仮)」(カノマックス社) 45 分
 - | 終了 (17 時過ぎ頃)
 - ・ 発表タイトル確定は、1/10 にて依頼する。その後、協賛団体 (AIJB 環境工学部会：小林先生、SHASEB：近藤先生、SIEJ 関西支部：東先生) にお諮り頂く。
 - ・ 配布資料は民谷先生とカノマックスさんに PPT ベースで 3/1 までにお送り頂くよう依頼する。
 - ・ 民谷先生には「ウイルスや微量化学物質などの測定原理から応用まで (仮)」でご承諾頂けた。謝金は 1 万円を準備する。
 - ・ カノマックス社ご講演内容の確認と調整
塩崎氏と田中氏から、予定内容の紹介があった。微細シャボン玉を用いた大空間の気流可視化やそれとパーティクルカウンター、風速計を組合せた測定法の紹介、飛沫核計測の手法紹介、シュリーレン法 (BOS) の紹介が提案され、シュリーレン法の原理や近年の活用事例を中心にしつつ、他のご提案内容についても動画紹介等を頂くこととした。手法適用に適切な空間にも触れて頂くように依頼した。
 - ・ チュートリアル関連発表は、全作成者に講演を依頼してご承諾頂けた委員全員から 7 分で発表頂く。チュートリアル動画のエッセンス (使用機材や使用方法、困りごとやコツなど) について話して頂くことにして、動画の一部を流しながら、または動画で使用した PPT をかいつまんで見せる形として頂く。
3. 次年度活動計画
 - ・ 支部研究補助費が 10 万円ついたことが周知された。シンポ使用不可、部会内勉強会可なので、一般部会費と使い分けて外部講師招聘などの部会内 WS (2-3 回) とシンポ開催を適切に行う。早めに日程調整等を行い、スケジュールを確定させる。

以上